

ボランティア・市民活動情報誌

COMV



communication x voluntary



特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」

地域の住民同士で支え合う
「お互いさま」の活動を継続

大阪有償ボランティア団体連絡会

- ④ ボラ基金交付団体へ突撃取材
ふれあいを通してこどもたちの心を豊かに
Team MYND(チーム マインド)
- ⑤ 誰もが自分らしく暮らせる、共生のまちづくり
～知っていますか? 認知症サポーター～



医療機関や買物へ。地域の高齢者の移動を支援

特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」



地域の住民同士で支え合う 「お互いさま」の活動を継続

大阪有償ボランティア団体連絡会

有償の助け合いサービスは「住民参加型在宅福祉サービス」とも呼ばれ、「自分たちのまちを、自分たちで住み続けられるようにしたい」という思いを形にした、住民同士による地域福祉活動です。

「ちょっと助けてほしいけれど、無償だと気を使ってしまう」という声も多く聞かれる昨今。有償（有料）というお金を介在させることで、「気軽に支え合う」ための営利を目的としない仕組みとして全国に広まっています。

今回は、大阪で有償助け合いサービス活動を行っている団体が集まり、1998年の発足以来、情報交換や交流を重ねている「大阪有償ボランティア団体連絡会」をご紹介します。

※全国の住民参加型在宅福祉サービス団体数2113団体（令和3年3月末現在）（住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会HPより）

「福祉有償活動セミナー」で
地域づくりの意見を交換

地域における多様な福祉課題は、「お互いさま」という考えによって地域住民自らが解決してきました。しかし大阪などの都市部では人間関係の希薄化が進み、地域におけるつながり・支えあい

の脆弱化が課題となっています。

『大阪有償ボランティア団体連絡会』(以下、連絡会)では、9月と10月の2回にわたり「みんなで元気に社会参加Withコロナで新しい地域づくり」と題して、「福祉有償活動セミナー」を開催。

公的制度では対応できない地域の諸問題(ニーズを、地域住民同士で支え合うことのできる、有償の福祉活動について理解してもらい、活動団体の輪を広げる機会を設けました。



「福祉有償活動セミナー」でさまざまな情報を交換

助け合いから生まれる いきがいのある生活

9月のセミナーでは、3団体がそれぞれの福祉有償活動について発表。最初に、『チョイサボしのだ(和泉市)』の副会長 佐藤 正浩さんが、医療機関や買い物への移動サービスについて報告しました。

佐藤さんは、地域住民へのアンケート調査で、移動サービスを求める声があることを把握。他都市での先駆的活動を視察しながら自分たちの地域での活動をイメージし、会議や研修を重ねたうえでサービスを開始しました。利用者からは「久しぶりに遠くまで買物に行けた!」、ドライバーからは「ありがとう!」と言ってもらい嬉しかった」など、双方から伝えられた感想も紹介しました。



訪問活動で高い場所にある換気扇を清掃

2人目は、「住民の助け合いによる生活支援活動事業」(大阪市委託)を活用しながら、住民主体の訪問活動を行っ

ている『NPO法人フェリスモンテ(大阪市生野区)』の理事・事務局長 隅田耕史さん。

元気な高齢者が高齢者の生活支援として、掃除、洗濯、調理などをいきいきと行っている様子を報告。最近では活動者から「膝が痛いので掃除ができない」といった声もあり、近くのNPO法人(障がい者就労継続支援B型事業所)にも活動に参加してもらうなど、多様な主体によりサービスの充実を図っていることを発表しました。



気持ちを込めて、高齢者へのお弁当を調理

続いて、『NPO法人友一友(吹田市)』代表の川口 雅香さんが、主に調理が困難なひとり暮らしの高齢者に向けて行っている配食サービスについて報告。

訪問の際には、必ず利用者の顔を見て手渡すことで、日々の変化への気づきや安否確認につながっています。また、配食サービスは、料理の作り手である活動者のやりがいや生きがいにもなっており、利用者と活動者、双方にとって貴重な場であると話しました。

地域活動で注目の モデルケースを考察

10月のセミナーでは、『株式会社スネイルトラック(大阪市東淀川区)』代表の本川 誠さんと、『NPO法人なごみ(西宮市)』事務局長の田村幸大さんが、それぞれの活動について発表。

本川さんは、会社の拠点である東淀川区で住民たちの声を拾い、ユニークな事業で地域の課題解決に取り組んでいます。

そのひとつが、子どもたちが安心して学び、遊べる居場所『しゅくだいカフェ』。会社が運営する学習塾の一部を利用することで、無償ながら持続可能な活動を実現しました。本川さんは、共働きなどで



ボランティアが子どもを見守る『しゅくだいカフェ』

こどもとゆっくり過ごす時間がなかなかつけれない、という子育て世代の悩みに共感。「家族が仕事から帰宅して夕食の支度が終わる時間まで、こどもが大人に守られた場所で過ごし、宿題も終わらせて帰ってくる。そんな機能があれば、夕食後に家族で充実した時間が作れるのでは」と、こどもの居場所活動を開始した経緯について話しました。

『NPO法人なごみ』は、地域の拠点として様々な人が集まり、繋がる場所として『まちcafeなごみ』を運営。誰もが利用できるカフェとして、様々な世代が交流する場となっています。また、住民のちょっとした困りごとを住民で支えあう活動として、家事援助をワンコイン(500円)で提供する『まちのよろず屋』も運営。事務局長の田村幸大さんは「これらの活動を通じて、すべての住民が、地域の中で支えあい、安心して暮らせるまちづくりをめざしたい」と、報告の最後を締めくくりました。

2回にわたるセミナーでは、有償福祉サービスを中心とした、住民共助のさまざまな取組みを共有することができました。

連絡会 副代表
の三和 清明さん
(NPO法人 寝屋川あいの会理事長)は「地域住民にも連絡会の活動を知ってもらい、住民同士で気軽に支え合う仕組みとしての福祉有償活動」を広めていきたいと考えています。

問合せ

大阪有償ボランティア団体連絡会

事務局:大阪市ボランティア・市民活動センター
TEL 06-6765-4041 FAX 06-6765-5618
Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp



地域住民の集いの場『まちcafe なごみ』

第13回 被災障害者⇔関西 ポジティブ生活文化交流祭

2011(平成22)年から、地域も立場も越えてみんなが知り合うことが、いざというときに大きな力になるという思いで続けてきた「ポジティブ生活文化交流祭」。今年は3年ぶり!第13回目の開催となります。

～今年のテーマは～

『これまでもこれからも双方向に。
いざというときに知ってる人とも
見知らぬ人ともつながっていくためには。』



日時 11月23日(水・祝) 午前11時～午後4時(雨天決行)

場所 大阪市立長居公園自由広場(東住吉区長居公園1-23)

アクセス 地下鉄 御堂筋線「長居」駅徒歩5分 JR 阪和線「長居」駅徒歩10分

ステージ ステージはいつもフラット。地べたで歌います、踊ります。
関西の障害者団体のメンバーが3年分のエネルギーを爆発させます。 会場は毎年約3000人の参加者でにぎわいます

出展 関西の障害者団体や有志たち50団体が出展。
作業所の商品だけではなく、いろんな食べ物や飲み物もあります。
※本イベントの収益や皆さまからの寄付を「ゆめ風基金」を通じて被災障害者支援に使わせていただきます。

運営・主催 東北⇔関西 被災障害者支援 ポジティブ生活文化交流祭 実行委員会

問合せ 事務局:日常生活支援ネットワーク(担当:椎名) TEL&FAX 06-4396-9189 Eメール pojitivematuri@gmail.com

令和4年度大阪市ボランティア活動振興基金 立ち上げ支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題の解決のために立ち上げた団体の初期期の基盤整備を目的とした団体の支援

ふれあいを通して子どもたちの心を豊かに

『Team MYND』は、毎週日曜日に浪速区日本橋エリアのオタロードで子どもたちと一緒に「ゴミ拾い活動」をしている団体です。限られた人間関係の中だけで生活している子どもが増加する中、地域の美化活動を行いながら、子どもとさまざまな人との結びつきを強めたいという想いから活動がスタートしました。

Team MYND(チームマインド)をしりとりでつなげていくゲームで、しりとりが20個以上つなげると賞品にジュースがもらえます。

「次のゴミ拾いには友達を誘ってきたり、子どもたちはゲームを楽しみながらも、自分の活動を誇らしく感じているのだと思います。子どもたちの活動を見て、ゴミを捨てない人も増えてほしいですね」と、代表の藤澤円香さん。子どもたちにお菓子を持ってくるおじいちゃんなど、少しずつ地域の人のふれあいも生まれています。

現在は不定期ですが、屋内で工作などを通じて子どもと共に学べる居場所『HUG組(はぐくみ)』も運営。遊びに来てくれる人や子どもがどんどん増えて、今後さまざまな活動へと広がっていくことが楽しみです。



最後のしりとりを楽しみにゴミ拾いに出発!

問合せ

Team MYND

Eメール genie20200304@gmail.com

情報マーケットP8④に募集情報を掲載



おいでよ! 地域の子どもたち

こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がるこどもの居場所づくりの取組みをご紹介します。

みんなが元気になる素敵な食堂

つるみのおかんの井戸端食堂(鶴見区)

毎月2回、鶴見区民センター調理室で開催されている「つるみのおかんの井戸端食堂」。「地域のママがこどもと一緒に、おいしく、楽しく過ごして、元気をチャージしてほしい」という想いから、2016年に始まった活動です。

調理室には早くからボランティアが集まり、協力して料理を作ります。そして夕方になると、幼児や小学生を連れた親子連れがやってきます。遊びまわる子どもたち、話に花を咲かせるママたち、優しく見守る人たちが「また会おうね!」と手を振ってくれました。「ただいま〜!」から始まり「またね〜!」で終わる「つるみのおかんの井戸端食堂」。これから先も、たくさんの方たちの笑顔があふれ続けることでしょう。

問合せ

つるみのおかんの井戸端食堂

TEL 06-6915-4048

Eメール mamaotasuketai88@yahoo.co.jp

<http://t7v3r.crayonsite.com/>



スタッフは毎回大忙しで、約100食作ります。



厚生労働省によると、10年前(2012年)の認知症高齢者の数は約462万人。さらに高齢化が進む中、3年後の2025年には700万人を超え、65歳以上の5人に1人が認知症当事者になるとの推計も発表されています。

認知症の人も、誰もが安心してのびやかに暮らせるまちづくりをめざして。私たち一人ひとりが、認知症サポーターとして活動してみませんか？



受けてみませんか？ 認知症サポーター養成講座

都道府県や市区町村が主催している『認知症サポーター養成講座』は、誰でも無料で気軽に参加できる講座。認知症になる原因やその症状、本人やその家族をサポートするための基本などを学ぶことができます。

大阪市では、『認知症サポーター養成講座』を受講した人には、「認知症の人を応援します」という意思を示す、認知症サポーターカードが渡されます(※身に付けることができるオレンジリング(有料)などもあります)。大阪市内で受講を希望される場合は、以下の事務局へお問合せください。

【大阪市キャラバン・メイト事務局】

(運営：大阪市社会福祉協議会 地域福祉課)
TEL 06-6765-7273 FAX 06-6765-5607
Eメール soudan@shakyu-osaka.jp



共生のまちづくり～

地域に密着し、認知症の人に寄り添う取組み 株式会社ケーエスケー(中央区)

医薬品等の卸売事業を展開している『株式会社ケーエスケー』では、社員全員が認知症サポーター養成講座(以下、講座)を受講する体制となっています。中央区桃園地域で毎年行われる「見守り声かけ訓練」にも多くの社員が参加し、地域の人たちと一緒に認知症の人への寄り添い方を実践的に学んでいます。このような取組みから、駅などで困っている様子の人に気付いた時には、積極的に声かけを行えるようになりました。

また社内には、講座で講師を務める研修を修了した人(キャラバン・メイト)が58人在籍。医師や薬剤師と一緒に各地で講座を開催することで、認知症への理解と早期発見につなげています。夏休みには、小学生とその家族を対象にした講座に講師として参画。こどもにも身近なテーマとして認知症について考えてもらう機会を設けるなど、地域に密着しながら認知症サポートの啓発を行っています。



楽しい演出を大切に、こども向け講座を開催



誰もが自分らしく暮らせる、 共生のまちづくり

～知っていますか?認知症サポーター～

認知症サポーターとは?

認知症サポーターは、何か特別なことをする人ではありません。認知症について理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を見守る「応援者」です。そのためにまず必要なのが、認知症についての正しい知識を持つこと。その知識を生かして、自分のできる範囲で手助けができる人が増えるだけでも、認知症の人が安心して暮らせる環境が生まれます。



地域のさまざまな場所で認知症サポーターが活躍中

気になる人がいれば、さりげなく見守る。困っている様子の人には声掛けや手助けをする。認知症の人と暮らす家族の話し相手になる…。認知症サポーターとなった多くの人たちが、こんな身近なシーンで自ら活動を進めています。

また、警察署や消防署、金融・交通機関をはじめ、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなど、生活に密着した業種の人たちも多数、認知症サポーターとして活躍中。

認知症が疑われるお客さまへの適切な対応をはじめ、最寄り自治体の関係機関と連携を図り、見守りや早期発見などに貢献しています。



出典:特定非営利活動法人 地域共生政策自治体連携機構ホームページ 認知症サポートキャラバン <https://www.caravanmate.com>

～身近な地域ですすむ、

一緒に歩いて、みんなで仲間意識を共有 このはな認知症サポーターの会(此花区)

『このはな認知症サポーターの会』は、毎月、地元住民の交流と仲間づくりの場として開催されている『このはな元気！一区长と歩こう』に合わせて活動しています。

認知症サポーター養成講座を受講した人たちがしています。「自分にも何かできることを」と活動に参加し、参加案内文書の配布やコースの下見、当日の支援などを行っています。

現在はコロナ禍のため、区内の中学校区ごとのグループで『お散歩ウォーク』を実施。参加者同士で顔見知りになると、外出を不安に感じている人を散歩に誘ったり、希望する人には外出の支援も行っています。

個人への配慮から、参加者に認知症の有無を問うことはありませんが、参加者の家族から「よく話をしてくれるようになった」「元気になった」などのうれしい声も。自宅で引き込みがちになってしまう人が安心して外出できるまちづくりに繋がっています。



散歩で仲間とふれあいながら、健康づくりも



コロナ禍でも

楽しむ気持ちを忘れずに！
「スパワールド世界の大温泉」

「スパワールド世界の大温泉（以下、スパワールド）」を運営する株式会社阪神住建では、次世代を担う子どもたちに、楽しいひと時を過ごしてもらいたいとの思いから、近隣のこどもたちをスパワールドへ無料招待するイベントを3年ぶりに開催。10月2日（日）・8日（土）・16日（日）の3日間、こどもの居場所を運営する8団体から159人のこどもの参加がありました。

コロナ禍で、多くのこどもの居場所活動が、活動の一時休止を余儀なくされてきた、これまで。開催しても会食はせず



スパワールド玄関前で笑顔の記念撮影

に「お弁当を持ち帰り」、「常にマスクを着用すること」が当たり前となつてしまいい、こどもたちにとっては窮屈な日々が続いてきました。

そんな中、久しぶりの開催とあつて、各団体の運営者からは「こどもたちとの久しぶりの再会や、参加できなかった家庭に声をかけるきっかけになった」「お風呂とプールではマスクなしで遊べたので、とても嬉しかった」などの声が多数寄せられました。

プールで泳いだり、久しぶりに友達としゃべったり。参加したこどもたちにとって、スパワールドでの二日は、きつと、楽しかった思い出の場所になることでしょう。

問合せ

地域こども支援ネットワーク事業 事務局

TEL 06-6765-4041 Eメール kodomo@osaka-sishakyo.jp
<https://www.osaka-sishakyo.jp/project/child-network/>



大阪発！

第34回 近畿地域福祉学会 大阪大会

これからの地域共生社会を展望する ～地域福祉の源流に学び未来を紡ぐ～

参加者募集

本大会は毎年1回、近畿圏内の府県・政令指定都市で開催していますが、今年度は「大阪大会」として、大阪市社会福祉協議会が実行委員会事務局を務めます。

コロナ禍などを背景にさまざまな困難な状況が続いていることをふまえ、大阪に息づく地域福祉実践を改めて共有し、地域共生社会のこれからの展望します。地域福祉活動に関わる皆さまのご参加を心からお待ちしております。

日時 **12月17日（土）9:30～16:30**

会場 **大阪市社会福祉研修・情報センター**（大阪市西成区出城2-5-20）

※会場参加型（定員140人）にて開催、午後のみオンライン参加可能

参加費 **〈一般〉1,000円 〈学生・学会員〉500円**

主なプログラム

午前

- 地域福祉活動の実践者・研究者による自由研究発表・実践活動報告

午後

- 基調講演『大阪の社会福祉の歴史・源流に学ぶポストコロナの地域福祉活動』
永岡正己（大阪市社会福祉協議会 会長）
- シンポジウム『大阪発！これからの地域共生社会を展望する』
中西 裕 氏（社会福祉法人四恩学園 理事長）
乾 繁夫 氏（元 大阪市社会福祉協議会 会長）
川口 加奈 氏（認定NPO法人Homedoor 理事長）
コーディネーター：松端 克文氏（武庫川女子大学 文学部 教授）
コメンテーター：小野 達也氏（桃山学院大学 社会学部 教授）

申込み

WEBフォーム、もしくは所定の申込書によりお申込みください。

申込締切：11月24日（木）
[詳細・お申込みはこちらから]
<https://www.osaka-sishakyo.jp/34kinki/>



主催

第34回近畿地域福祉学会 大阪大会実行委員会

問合せ

大阪市社会福祉協議会 地域福祉課
（担当：松尾・田淵・巽）
電話06-6765-5606

情報マーケット

Information Market

『参加してみたい!』と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。



OCVAC のウェブサイトから
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

④オタロードでゴミ拾い! ボランティア募集

Team MYND

<https://kyodo-portal.city.osaka.jp/case/24000015318/>

子どもたちと一緒にゲーム感覚でゴミ拾い活動をしています。一緒にボランティアを楽しみませんか?

日程 毎週日曜日 9:00~10:00(雨天中止)

集合場所 難波中2交差点(浪速区難波中2丁目2)
南海「なんば」駅南館1階東出口からすぐ
※オレンジ色のユニフォームを着たスタッフが立っています。

人数・条件 どなたでも ※小学生以下は保護者同伴

申込方法 電話、Eメール

問合せ▶ TEL/06-6125-5553

Eメール genie20200304@gmail.com (担当:藤澤)

①ミュージアムボランティア募集

キッズプラザ大阪

<https://www.kidsplaza.or.jp/news/2022/10/001032/>

展示物やプログラムを通じて、子どもたちの遊び・発見・学びをサポートしながら、一緒に楽しく遊ぶボランティア活動です。

日程 2023/4/1(土)~2024/3/31(日) 9:30~17:15

場所 キッズプラザ大阪(北区扇町2-1-7)
地下鉄「扇町」駅2番出口からすぐ
JR「天満」駅から西へ徒歩3分

人数・条件 18歳以上(高校生不可)、子どもが好きな方
ボランティアやスタッフと協力して活動できる方、体力に自信のある方
年間を通じて月2回以上活動可能な方、再度申込される方は通算登録年数5年未満の方
交通費実費支給(1日上限2,000円) 昼食費支給(1日の活動につき1,000円)
(※ただし、体験活動時は交通費・昼食費ともに支給されません)

申込方法 HP

問合せ▶ TEL/06-6311-6603 FAX/06-6311-6605

Eメール ip2023@kidsplaza.or.jp

⑤天文学講演 「彗星や流星から広がる世界~古文から現代天文へ~」

関西で星を学ぶ会

<https://sites.google.com/view/kansaideshoshi/>

彗星や流星や火球を紹介。太陽圏からオールの雲まで広げて紹介します。(中学校程度の古文、漢文の問題を解きます。)

日程 12/3(土) 14:00~16:30

場所 大阪市立総合生涯学習センター(北区梅田1-2-500 大阪駅前第2ビル5階)
地下鉄「梅田」「東梅田」「西梅田」駅
JR「大阪」「北新地」駅

人数・条件 高校生以上 定員:20人(抽選)

申込方法 HP 締切:11/26(土) 13:00

問合せ▶ TEL/090-8121-6929

Eメール k3377junamg@gmail.com (担当:樺山)

②本日青春テレビ 撮影スタッフメンバー募集

特定非営利活動法人発起塾

<http://hokkijuku.net/index.html>

シニアのためのネットテレビ「本日青春テレビ」のドラマ撮影や映像編集のお手伝いをして下さる方を募集しています。初心者の方も気軽に応募ください。

日程 月3~4回程度(不定期)

場所 港町リバープレイス1階(浪速区湊町1-3-1)
地下鉄「なんば」駅
近鉄「大阪難波」駅 各駅26-C出口から徒歩5分

人数・条件 どなたでも ※登録料(郵送費等)として年会費1,500円が必要です。

申込方法 電話・Eメール

※お電話でのお問い合わせは、平日10時~18時までにお願いいたします。

問合せ▶ TEL/0120-86-2615

Eメール hokkimail2000@hokkijuku.net (担当:宮崎)

⑥ヤングケアラー ~家族のケアを担う子どもたち、当事者の語り~

クレオ大阪子育て館

https://creo-osaka.or.jp/archives/event_north/127

元ヤングケアラー当事者を講師に、ヤングケアラーの現状や当事者の気持ちを尊重し、どのような支援ができるかを考える。

日程 12/15(木) 14:00~15:30

場所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20 7階)
地下鉄「天神橋筋六丁目」3番出口から連絡
JR「天満」駅 北へ徒歩約10分

人数・条件 テーマに関心のある方(定員:40人)

申込方法 電話・FAX・HP・来所(締切:先着順)

問合せ▶ 〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20 7階

TEL/06-6354-0106 FAX/06-6354-0277 (担当:岸)

③2023年度 第30期「緑のふるさと協力隊」参加者募集!

特定非営利活動法人地球緑化センター

<http://www.n-gec.org/>

1年間農山村に住み、地域づくりに取り組む「緑のふるさと協力隊」を募集します。あなたも「生きる」を実感してみませんか?

日程 2023/4/6(木)~2024/3/17(日)

場所 全国20市町村(そのうち1カ所に1年間派遣されます)

人数・条件 心身ともに健康な概ね18~40歳の人
活動期間を通じて現住所を離れて活動できる人

説明会 11/27(日) 14:00~16:00
新大阪丸ビル別館【2-1A】(東淀川区東中島1-18-22)

申込方法 電話・Eメール・郵便・HP 締切:12/21(水) 必着

問合せ▶ 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-11-3金谷ビル2階201

TEL/03-5542-0132 Eメール furusato@n-gec.org (担当:山岸)



⑪第10回エクセレントNPO大賞

「エクセレントNPO」をめざそう市民会議in言論NPO

<http://www.excellent-npo.net/>

質の向上をめざし、自己評価を行いながら改善につとめる非営利組織を応援し、その活動が社会に「見える化」することを目的としています。

内 容 大賞 50万円(部門賞の中から選考)、部門賞 各30万円(市民賞、課題解決力賞、組織力賞)、チャレンジ賞10万円

応募要件 国内外の社会貢献を目的にしている日本国内の民間非営利組織(法人格の有無、種類は不問)

申請方法 ホームページから所定の応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ応募ページから応募

応募締切 12/10(土)17時必着

問合せ ▶ TEL/03-3527-3972

Eメール enpo@genron-npo.net



⑫2023年度 地球環境基金 助成金

独立行政法人 環境再生保全機構

<https://www.erca.go.jp/jfge/>

地球環境基金では、国内外の民間団体(NGO・NPO)が開発途上地域または日本国内で実施する環境保全活動に対し、助成金の交付を行っています。

助成内容 7種類の助成メニューがあります(1.はじめる助成、2.つづける助成、3.ひろげる助成、4.フロントランナー助成、5.プラットフォーム助成、6.特別助成、7.LOVE BLUE助成)※詳しくはHPを参照

助成金額 1件につき50万～1,200万円 ※助成メニューにより異なります

申請方法 所定の「地球環境基金助成金申請システム」から提出
※詳しくはHPを参照

応募締切 12/1(木)13時まで

※システム上、必須項目が未入力の場合など「エラー」となり、修正・提出に時間がかかる場合があります。時間に余裕をもってご応募ください。

問合せ ▶ 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部 地球環境基金課
TEL/044-520-9505 Eメール kikin_youbou@erca.go.jp



⑬困難な状況にある子ども達への学習支援 (旧:子ども食堂などに学習機能を付与するための助成事業)

一般財団法人 中辻創智社

<https://nakatsuji-ff.org/offering/kodomo/>

学習指導員として大学生などの若い世代を雇用することで若者を支援するとともに、困難な状況にある子ども達とふれあう経験を持った若者が活躍することで、子ども達を支える社会の手が広がっていくことをサポートします。

助成用途 助成金の50%以上を学習支援のための人件費(大学生や大学院生等の若い世代)に充てることを必須とします。それ以外は子ども達が集まる場所を整備し運営するための用途(新型コロナウイルス対策を含む)に支出可能です。※詳しくは応募要項を参照

助成金額 上限1件あたり50万円

募集地域 京都府、大阪府、滋賀県

申請方法 HPから所定の申請書をダウンロード・記入し、必要資料を添付のうえメールで送信

応募締切 12/4(日)

問合せ ▶ Eメール info@nakatsuji-ff.org



⑦第23期介護オンブズマン養成講座

介護保険市民オンブズマン機構大阪

<https://o-netnpo.site/>

土日祝

継

施設の高齢者や職員と面談し、橋渡し役として介護の質に貢献する活動です。コロナ禍の今だからこそ施設のことを知り「見る目」を養いませんか。

日 程 12/3・10・17の毎週土曜日 13:00～16:10

場 所 PLP会館3階オンブズマン機構大阪事務局(北区天神橋3-9-27)
JR[天満]駅から徒歩5分
地下鉄[扇町]駅4番出口から徒歩3分

人数・条件 20歳以上の男女 参加費8,000円(税込)
事務局受講:5人 オンライン(zoom)受講:25人
※都合の悪い日は後日ビデオ受講も可能

申込方法 電話・FAX・郵便・ホームページ・来所 締切:11/29(火)

問合せ ▶ 〒530-0041 北区天神橋3-9-27 PLP会館3階

TEL/06-6949-8192 FAX/06-6949-9296 (担当:堀川)



⑧第92回 点訳奉仕員養成講座へのお誘い

一般社団法人 大阪市視覚障害者福祉協会

<http://daishikyo.org/>

平日

継

視覚障がい者のために、点字を初歩から学んでいただき、講座終了後に点字のボランティアを養成していきます。※晴眼者対象です

日 程 ①2023/1/11～2/22 毎週水曜日 7講座各日 13:15～16:00
②2023/3/1～3/15 毎週水曜日 3講座各日 13:00～16:00

場 所 ①大阪府教育会館2階会議室(天王寺区東高津町7-11)
②大阪市立社会福祉センター 会議室(天王寺区東高津町12-10)
いずれも、地下鉄[谷町九丁目]駅 4番出口から徒歩約10分
近鉄電車[上本町]駅 近鉄11番出口から徒歩3分

人数・条件 定員20人(応募多数の場合抽選)
大阪市内在住・在勤・在学の人 参加費:無料

申込方法 往復ハガキ・FAX・Eメール ※電話申込不可 締切:12/15(木)必着
(※住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号の記入必須)

問合せ ▶ 一般社団法人 大阪市視覚障害者福祉協会

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 TEL/06-6765-5600 FAX/06-6765-2554
Eメール daishikyo-shomu@wine.ocn.ne.jp (担当:西村) ※左記アドレスからのPCメール受信設定をお願い致します。



⑨「連合・愛のカンパ」団体立ち上げ・新規事業立ち上げのための準備金支援

公益財団法人 さわやか福祉財団

<http://www.sawayakazaidan.or.jp/>

日本労働連合総連合会「連合・愛のカンパ」より資金を提供いただき、新たな地域の助け合い活動を初期運営資金面から支援します。

助成対象 2021年10月1日以降に新たに立ち上がった団体、または既存の団体であっても、従来の活動に加えて新たに開始した事業。
※ここでいう団体とは、ふれあい、助け合いによる生活支援活動を主たる目的とする任意団体、NPO法人、グループ、サークルなど※詳しくは応募要項を参照

助成金額 上限1件あたり15万円

申請方法 HPから所定の申請書をダウンロードし必要事項を記入、必要資料を添付のうえ郵送

応募締切 11/30(水)必着

問合せ ▶ 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館7階

TEL/03-5470-7751



⑩2023年度 学生を対象とする次世代リーダーの育成活動に対する助成

公益財団法人 電通育英会

<https://www.dentsu-ikueikai.or.jp>

地域社会や学術研究、民間団体、行政・自治体、国際機関などの様々な分野や組織で活躍する次世代リーダーの人材育成、リーダーシップの育成につながる活動を支援します。

助成対象 関西地区:大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県に、主たる事務所(拠点)がある大学公認団体または大学内ボランティアセンター、NPOなどの営利を目的としない団体(法人格の有無は問わない)

助成金額 上限1件(一団体)あたり100万円

申請方法 所定の申込書をHPよりダウンロードし、直近の決算報告書・活動報告書とともにHPの申込フォームにて送信
(電通育英会HPの「情報発信・助成事業」→「人材育成への助成事業」→「助成申込にあたって・2023年度申し込み画面」を参照)

応募締切 11/30(水)17時30分まで

問合せ ▶ 2023年度助成事業申込画面「お問い合わせ」フォームよりお問い合わせください

大切なお知らせ!!

新型コロナウイルスの感染防止のため情報マーケットに掲載の活動やイベントなどを予告なく中止・延期とする場合があります。ご了承ください。



必ず参加前に連絡して確認をお願いします

NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリリーススタイルでお届けします。

「学校のなか」と「地域」で出会い 20代以降の孤立を防ぎたい

NPO法人FAIR ROAD (フェアロード)

凸凹に公正な寄り添いと平等な機会がある社会を目指して2012年に設立し、大阪府下の「学校のなか」と「地域」で、居場所事業を中心に活動しています。

現在、2つの地域(大阪市西成区・港区)と3つの中学校(大阪市港区・西成区・鶴見区)、3つの高校(大阪市大正区・生野区・箕面市)の中で「居場所」を運営しています。

わたしたちが運営している「学校のなか=校内居場所」というのは、学校内の空き教室や図書館などを使用した、誰でも気軽に立ち寄れる「カフェ」や「ひろば」です。高校は大阪府教育庁の委託事業として3校とも空き教室で週2日運営し、中学校は大阪府教育委員会の事業を活用して学校内の図書館で週1日運営しています。

「校内居場所」は昼休みと放課後にオープンしていて、保健室やSC(スクールカウンセラー)がいる相談室とは違い、来室するための理由や予約は不要で、運動場のように誰でも利用できます。

飲み物やボードゲームなどを楽しみながらの多様な人達(異質な他者)との交流、こども・若者の「聴かれる権利」を大切にしたい安全安心な場所です。「学校のなか」と「地域」に、こども・若者が自分の生活や疑問、言葉にまとまらないモヤモヤを語れる場を作ること、孤立しない社会への一歩だと思っています。

<https://fairroad.org/>



各校年間のべ約1000人の生徒さんが来室します。

⑮「積水ハウスマッチングプログラム」2023年度助成

<https://www.sekisuihouse.co.jp/matching/>

「地域」を世界一幸せな場所にするご提案をお待ちしています。

基金の種類と支援内容 「こども基金」: 次世代を担うこどもたちを育成することを目的とし、こどもたちの健全な育成に関わる活動を支援

「環境基金」: 地域に根差した豊かな住環境や自然環境の創造を目的とし、環境配慮に関わる活動、まちづくりや地域コミュニティに関わる活動を支援

助成の種類 【団体助成】「こども基金」「環境基金」に関わる地域・社会の課題に取り組むすべての団体を対象【プロジェクト助成】申請プロジェクトに対して助成。※団体助成(団体維持費)ではありません。

応募資格 積水ハウスグループの事業所や従業員との連携(互いのイベントへの協力、セミナー開催や、協働プロジェクトの企画・実施、従業員のボランティア参加など)が提案でき、従業員からの推薦が必要となります(詳細は募集要項をご確認ください)。

応募方法 申請書に必要事項を記入の上、必要資料とともに、下記送付先(協働事務局)までデータでご提出ください。

応募締切 12/8(木) 13時必着(データ送付)

問合せ・送付先(協働事務局) ▶社会福祉法人 大阪ボランティア協会

TEL/06-6809-4901 FAX/06-6809-4902 Email sekisuihouse-matching@osakavol.org (担当:江洲)

⑭第4回 パイロットクラブ・チャレンジ助成金

パイロットインターナショナル日本ディストリクト

<https://www.pijd1951.org/>

私たちは地域社会に前向きの変化をもたらすことを使命とし、脳関連障がい者への支援に焦点をあてて活動しています。その使命に共鳴する活動にチャレンジしている人々の活動を支援します。

助成対象 共生社会を目指して、福祉向上に関わる活動実績が3年以上のボランティア団体(法人格の有無は問いません)

助成金額 60万円(1団体あたりの上限30万円) 対象事業の75%まで

申請方法 HPから所定の申請書をダウンロードし、必要事項を記入のうえメールで送付

応募締切 12/20(火) 必着

問合せ ▶Eメール pilot.international.japan@gmail.com



情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法

大阪市ボランティア・市民活動センターHP内の専用フォームから情報をお寄せください。 <https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 (担当:泉・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。
(例:2023年2月15日発行号(3月号)に掲載希望の場合は2022年12月末日まで)



おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

ボランティア活動は、地域や社会をより良くしていくことに役立つとともに、活躍する自分自身も豊かにしてくれる力を持っています。

「ボランティアをしてみようかな?」と思ったら、自分が好きなこと、共感できることなど、身近に感じることから無理なく始めましょう。



どうすれば活動に参加できるの?

市・区町村社会福祉協議会のボランティア・市民活動センターで相談できます。気軽に利用してみましょう。



インターネットで 情報収集する

最寄りの市区町村にあるボランティア・市民活動センターのホームページを検索してください。ボランティア団体やボランティア募集などの情報を閲覧できる場合もあります。

※大阪市の場合、「大阪市市民活動総合ポータルサイト」でもボランティア情報を閲覧できます。
<https://kyodo-portal.city.osaka.jp>



訪問してみる

直接訪ねて相談することもできます。多くのボランティア・市民活動センターには、ボランティアに関する情報誌や案内チラシなども置いてありますので、幅広い情報を得ることができます。日時によっては担当者が不在の場合もありますので、事前に連絡しておくとうれしいです。



ボランティア活動開始までの流れ(例)

インターネットや窓口で情報収集

活動先に連絡

活動内容の確認

保険加入

活動開始!!



電話やメールで 問い合わせる

まず「ボランティア活動をしたい」と伝えてください。知りたい情報や不安に感じていることなど、何でも気軽に相談してみましょう。



● **社会福祉協議会以外の窓口等を利用する**
社会福祉協議会以外の団体が相談窓口を設けている場合があります。また、個別のNPO・ボランティア団体等に直接連絡する方法もあります。



ちょっぴり不安な場合は…

多くの団体では見学を受け入れているので、活動の様子を見てから参加を検討することもできます。ただし、見学といっても実際の活動の場に立ち会うので、約束したことやルールをきちんと守りましょう。また、講座等に参加して、知識や技術を身につけてから活動を始めることもおすすめです。



はじめてのボランティア・市民活動

～自分にあった活動を見つけよう～

どんなボランティア活動があるの？

ボランティア活動と一口に言ってもさまざまなものがあります。下記を一例に、自分に合った活動を探してみましょう。

高齢者・障がい者を対象とした活動

- 食事サービス(会食・配食)や見守り、訪問活動
- 外出支援や文化活動・スポーツのサポート
- 点訳・音訳・手話・朗読 など

こどもや青少年などを対象とした活動

- 子育て支援(遊びや一時保育)
- 学習支援やレクリエーション活動支援
- おもちゃドクター など

安心・安全なまちづくり

- 防災・防犯・交通安全活動
- 住民間の交流を意図した喫茶やサロン活動 など

自然や環境を守るための活動

- 森林や里山保全、海辺の清掃活動
- リサイクルや動物愛護活動 など

芸術・文化的な活動

- 美術館や博物館での活動
- 伝統文化の継承・普及への貢献
- まち歩きや観光ガイド など

趣味や特技を生かす活動

- 地域や福祉施設での音楽やマジック、落語などの披露
- 園芸やパソコン、アロマなど知識をいかした活動 など

社会的な課題に取り組む活動

- 不登校、引きこもりの人への支援
- 路上生活者への支援 など

国際交流・国際協力

- 開発途上国のコミュニティへの援助
- 日本で暮らす外国人への支援活動 など

災害で被災した人を支援する活動

- 被災地での家屋の片づけや困りごとへの対応
- 被災地外での物資仕分けや募金、避難者への生活支援 など

1日から参加できる活動

- スポーツやお祭りなどの運営スタッフ
- ボランティア体験プログラムへの参加 など

その他

- 募金活動
- 家でできるボランティア活動(収集活動・手芸・寄付) など

POINT

- ◎ ボランティア活動は、最初からたくさんのことをしようとせず、余裕をもってできることから始めましょう。
- ◎ 万が一に備えてボランティア活動保険に入り、安心して活動に臨みましょう。



ゲームの一部。頭を使ったり、コミュニケーションを楽しんだり…。

子どもへの寄り添い方を、考え、学ぶ貴重な時間

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

学生ボランティア活動

それゆけ!

がんばれ!

連載リレーコラム

No.26

私は、『NPO法人みらいず2』が

大阪市から委託を受けている不登校児童の通所ルームで活動しています。そこでは、来所することもたちと一緒にお話や勉強、ゲームなどをして過ごしています。そして、月に一回おでかけやイベントの企画も行っています。企画は子どもたちにどんな経験をしてほしいのか、それぞれが安心して参加するためにどんな工夫がいるのかなどを考えながら進めています。今まではスタッフや学生だけでなく企画を進めていましたが、最近はこの子どもたちにもイベントの準備をしてもらうようになりました。みんなと一緒に作ったイベントを楽しんでもらえることはとても嬉しく、やりがい

になっています。

活動の中では子どもたちの発言や行動から、本人に自信がついていることや成長していることを実感する場面が何度もありました。子どもたちの変化や成長を感じられることは活動を続ける原動力になっています。また、そのような変化と一緒に喜び合えるスタッフや学生たちがいることもこの居場所の魅力だと思っています。活動を通して、私も一人ひとりの関わり方を考えたり学んだり、貴重な時間を過ごしていると感じています。今後もこの居場所ですべき様々な経験をしながら、一緒に成長していきたいです。

長谷 京香

武庫川女子大学
心理・社会福祉学科



プロフィール

所属団体：NPO法人 みらいず2
趣味：ピアノ
学年：3年生

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当:泉・竹澤)

エントリーはこちら ▶



アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎月5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXがハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌COMVO272号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2022(令和4)年12月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



大阪シティ信用金庫 社会貢献活動トピックス

「大阪クラシック2022」に協賛・協力

当金庫は、大阪のメインストリートである御堂筋および水都大阪を象徴する中之島エリアに、人の流れと賑わいを作り出すことを目的に開催された「大阪クラシック2022」(9月4日～10日)に今年も協賛・協力しました。

9月9日(金)、本店2階大ホールを公演会場として無償提供するとともに、公演のオープニングアクトとして、当金庫職員がピアノ演奏を披露しました。公演には、世界的指揮者の大植英次氏も応援に駆け付け、大阪フィルハーモニー交響楽団の皆さんの流麗な演奏をクラシックファン等、約150名の観客に堪能いただき、盛況のうちに終演となりました。



大阪フィルハーモニー交響楽団による流麗な演奏

ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

■体裁・発行・部数

B5判 16頁(フルカラー)年10回発行

■広告申し込み締切

発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申し込ください)

■申込方法

下記まで問合せください

赤字が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。

それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

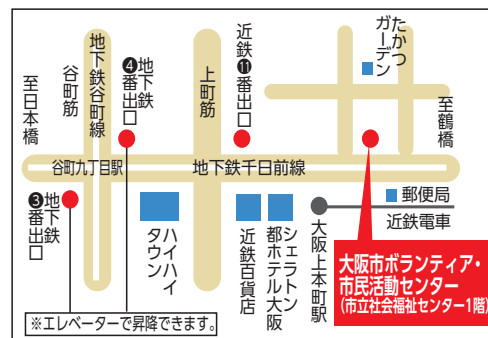
●開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)

●休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2022年11月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)

●発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぽこ・あ・ぽこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援を進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシアバリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668